

①事業の基礎情報

事業名	保育サービス充実事業		担当部・グループ名	こども未来部 こども育成グループ						
実施期間	平成 26 年度～平成 29 年度		担当 GL 氏名	都築 真哉						
新規・継続の別	継続事業		電話番号(内線)	52-1111(内線 364)						
総合計画 (基本計画) 体系	個別目標	(5)地域ぐるみで子育て・子育てを支えます	予算・事業名 予算書上の	款	3款 民生費					
	こんなことに取り組みます	「高浜市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、多様で柔軟な保育サービスの提供など、子育てニーズを適切なサービスに結び付ける取組みを進めます。		項	2項 児童福祉費					
				目	2目 保育サービス費					
	みんなで目指すまちづくり 指標名	子どもを産み、育てやすいと感じている人の割合			事業名	2 保育園管理運営事業				
現状値(H25)	66	実績値(H26)	65	実績値(H27)		実績値(H28)		目標値(H29)	74	(単位) %

②事業の概要

目的 (何をどうするために)	・3歳未満児で発生している待機児童解消を図る。		
	・3歳以上児においても、待機児童が発生することがないように、保育園に偏っている施設利用の改善を図る。		
	・子育てがしやすい環境を整えるため、ニーズに即したサービス提供を図る。		
対象(誰・何を対象に)	就学前の児童及びその家族	対象の数量	2,997 人
最終目標 (最終的に何がどうなれば達成か)	・保育ニーズに対応した子育て環境が整えられ、子育てと仕事の両立ができています。		
	・安心して子どもを産み、育てられると保護者が実感している。		

③事業にかかる事業費概要

平成 26 年度 (当初)		決算	主な内容		
事業費総額 (千円)		129,080	117,192	・平成 26 年度新設保育園 2 園分運営費委託料 13,526 千円 ・平成 26 年度新設保育園 2 園分運営費補助金 100,513 千円 ・子ども・子育て支援事業計画策定委託料 3,153 千円 (前年度からの繰り越し含む)	
財源内訳	一般財源	44,807	39,554		
	特定財源	国・県支出金	67,521		61,889
		その他	16,752		15,749
補助事業・単独事業の別		補助事業	補助事業		



▲新設保育園 2 園 (左: 吉浜さんさん保育園 右: 高浜あおぞら保育園)

④平成 26 年度の実施内容（目指す姿の実現に向けて、どんなことに取り組んできたのかを整理する）

	何を・どうした ※箇条書きで記載する	いつ(年月)	アウトプット
実施内容	①新設保育園2園（吉浜さんさん、高浜あおぞら）を開園した。	H26.4～	受入定員 91人
	②人口分布が多い4歳児において、弾力運用による対応を行った。	H26.4～	弾力定員 18人
	③子ども・子育て会議を開催し、「子ども・子育て支援事業計画」を策定した。	H26.4～ H27.3	印刷部数 350冊
	④家庭的保育の新制度対応について検討した。（食事、勤務体系等）	H26.4～	平成27年6月 給食開始予定
進捗状況	平成26年度に計画していた内容については順調に実施することができた。		
実施内容に対する成果 (事業の自己評価)	<ul style="list-style-type: none"> ☆ 保育園の新設による増加傾向にある3歳未満児の保育ニーズに対する受入枠の拡充及び弾力運用による対象が多い4歳児の対応により、子育てしやすい環境整備に寄与した。 ☆ 子ども・子育て支援事業計画策定により待機児童等の今後の対応の方向性が示せた。 ☆ 家庭的保育についてはより利便性を高める保育サービスとする見込みとなった。 		

⑤課題と今後の取組みの方向性（平成 26 年度を振り返り、課題を抽出し、今後の取組みの考え方を整理する）

課題	今後の取組みの方向性
（1）3歳未満児における待機児童の発生 ・これまでも、保育サービスを拡充してきたが、国の施策等の影響もあり、依然、3歳未満児で待機児童が発生している。	・利用率が低い家庭的保育をより利用してもらうようにして、待機としないようにする。
（2）3歳以上児における保育園へのニーズの偏り ・幼稚園の入園率が年々下がっているため、クラス数が減少する園も出ている。その一方で、保育園への入園希望は増加しており、3歳以上児で保育園にニーズが偏っている。	・利用率が下がっている幼稚園に保育園機能を加え、現在の幼稚園施設において保育ニーズにも対応できるようにする。
（3）ニーズに即したサービス提供 ・平成26年度に子ども・子育て支援事業計画を策定したが、社会情勢が変化しており、変化するニーズに即したサービス提供が求められる。	・子ども・子育て支援事業計画について子ども・子育て会議等での意見を聴きながら、必要に応じて見直しを図り、ニーズに即したサービスを提供するようにしていく。

⑥課題解決に向けた平成 27 年度の具体的なアクション（案）

	何を・どうする ※箇条書きで記載する	いつまでに(年月)
計画(案)	①家庭的保育において給食提供を開始し、利便性を向上する。	H27.6
	②子ども・子育て会議を開催し、「子ども・子育て支援事業計画」に基づく次年度に向けた準備を行う。	H28.3
	③高浜幼稚園の認定こども園化を図る。	H28.3
	④高取幼稚園及び高取保育園認定こども園化及び民営化の検討を行う。	H28.3

特記事項	
------	--